

# エントリー台数の割に盛り上がった第1戦。

CMSC山形

山形県トライアルシリーズ第1戦

4月19日

4月19日、山形県トライアルシリーズの第1戦目を開催。非常に天候に恵まれ、快晴の中49台の出走となりました。一台でも増やそうと多方面に働きかけ、参加要請に努めたのですが、結局その努力の甲斐もなく、昨年の参加台数を下回ってしまいました。非常に残念でもあり、今後の反省点でもあります。

さて、三菱勢はA-IIIクラスに旧型ミラージュ4WDが1台、新型ミラージュ4WDが3台。新旧交替の時が来たという感じで、順位も新型ミラージュが上位に入り、旧型ミラージュは何とか10位といったところでした。注目のA-IVクラスの方には、ギャラン(240



上位入賞の新型ミラージュ

PS)が5台、新型ランサーが1台。ギャランの方では2本目に、当クラブ員の若手のホープ渡辺選手が、気迫に満ちた積極的なチャレンジをみせ、ギャラリーは大変盛り上がりしました。



気迫あふれる走りのギャラン渡辺選手

尚、今年9月15日にはジムカーナの東北戦を開催します。そちらに照準を合わせて、クラブ員全員一丸となり、ますます頑張っていきたいと思います。

(CMSC山形 菅野 茂)

# 豊富な主催経験を活かしてスムーズな進行。

CMSC香川

'92CMSCタイヤスタージムカーナ

4月26日

4月26日、ビスタランド大豊にて四国地方チャンピオン戦の第5戦、'92タイヤスタージムカーナを主催しました。四国ではこの1~2年の間に、チャンピオン戦とフレッシュマン戦でエントリーがはつきりと分かれてしまい、どうもチャンピオン戦離れが進行している感じです。ちなみに今回の総参加台数は96台。チャンピオン戦にしては少し淋しいというところでしょうか。また、四国では比較的多量の参加が少ない感がありますが、今回はCMSC香川の田村選手が、ミラージュサイボーグターボでA-IIIクラスに参加。無事完走しました。

さて、競技の方は午前8時45分、第1ヒート開始。

順調に進むかに見えたのも束の間、ジムカーナとしては珍しくコースアウトリタイヤが出てしまいました。もっとも当クラブ員は、ダートやラリーの主催経験が豊富。コース脇の溝に落ちた競技車に対しても敏速に対応し、事無きをえました。

次のイベントは、8月29~30日の'92CMSCタイヤスターラリー。これからもクラブ員一同、チームワークの良さを活かして張り切っていきます。

(CMSC香川 白井修)



A III参加完走の田村選手

# スタッフ全員の協力で、無事に競技を終了。

CMSC福島

'92CMSCタイヤスタージムカーナ

3月22日

3月22日、CMSC福島主催によるタイヤスタージムカーナが行われました。あいにくの大雪で何とコース上には50cm以上の積雪があり、ほぼ開催不可能な状態。チーム全員が、会場であるエビスサーキットの人達と共にほとんど徹夜で除雪作業を行って、

やっとのことで競技をスタートさせました。

所々濡れてはいるものの、全体的にはドライなコース状態。思いのほかいいコンディションに、かなりパワフルな走りが展開され、無事競技を終了することができました。ご協力いただいた皆さん、どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。



A III 1位の佐藤選手

(CMSC福島 須田 行雄)

# コンディションの悪さにも、気迫で善戦。

'92全日本ジムカーナ選手権 第3戦参戦記

CMSC青森 小館 久

宮城県SUGOサーキットカートコースで、'92全日本ジムカーナ選手権第3戦が開催されました。昨年、C53AミラージュCIIIマシンを製作して、やっとFFFになれた私たち。'91年の全日本のこともあり、今回は

絶対勝ちたいという気持ちで挑みました。

23日の公開練習は2番手タイムで終了。翌24日の競技当日は、霧で視界が悪く雨が降ったり止んだり嫌な天気のため、1本目は59秒251のタイムでトップと0.24秒差、しかしパイロンタッチ有り、という結果でした。同じCMSC青森のメンバーである佐々木堅太郎君にもパイロンタッチがあり、2本目に臨

むに当たってお互いに多少プレッシャーがかかっていました。2本目の私のタイムは57秒877。一方、佐々木君は57秒766をマーク。結果、彼は堂々全日本3位となったのです。20歳の佐々木君、おめでとう。

まだまだもう一つ、思うような結果がだせない私ですが、マシンも出来る限り自分なりに煮詰めていくなど、これからいっそう頑張ります。

# 大健闘で今後のレースにますます期待。

## ミラージュ東北シリーズ・フォーラスカップ第2戦

CMSC仙台

西仙台ハイランドでのミラージュ東北シリーズ、フォーラスカップ第2戦は、晴天、ドライコースという最高のコンディションの中で行われました。予選は27台の出走でしたが、今年から我がCMSC仙台の一員となった東江選手がトップタイムを出して初のポールポジションからのスタート！今野選手は、いま一つマシンの調子が上がらず16位となりました。さて29日の決勝当日。ポールからスタートの東江選手は、燃料系のトラブルで一時4位まで後退。苦

しみながらも前後のマシンとすさまじいバトルを繰り返し、結果3位に入賞しました。今野選手は好スタートをきり、第1コーナーまでに2台3台と追い抜いて、1周目には8位をキープ。しかし、後続車との距離があいており一瞬気のゆるみがあったのか、ラスト2周目で突然スピン。結局、順位を一つ落としたものの9位でゴールインとなったのです。



2台のマシンが10位以内に入賞できたことは、大いに今後の自信につながります。両者共に第1戦目は納得のいかない成果だっただけに、今回の喜びはまたひとしお。これからのレースが期待されます。(CMSC仙台 齊藤)



惜しくも3位の東江選手(写真左)、大健闘の仙台勢2台

# 果敢な走りで追い上げに拍車をかける！

## '92ミラージュカップシリーズ 参戦記

CMSC埼玉

'92年4月、ミラージュカップシリーズがいよいよ開幕。我がCMSC埼玉も昨年に続いて、ミラージュインターナショナルとフレッシュマンにそれぞれ1台ずつエントリーすることができました。インターナショナルには、リョーインさんとリックさん、フ

レッシュマンには昨年同様、鴻池運輸さんの強力なご支援をいただくことになりました。

ミラージュインターナショナル第1戦は、久々の6位入賞でさい先の良いスタート。エンジントラブルで一時は出場も危ぶまれた第2戦も、関係各位の皆様のご協力により、無事完走することが出来ました。一方、筑波サーキットで行われたフレッシュマンの第1戦は、予選通過28台に対してエントリーが

39台。かなり厳しい状況でしたが、最後尾ながら何とか予備通過を果たし、さらに決勝では15位まで順位を上げることができたのです。残る全戦、最後まで力いっぱい頑張りたいと思います。



# すさまじいバトル、迫力あるレース展開。

## ミラージュカップシリーズ第2戦 観戦記

CMSC島根 祖田 和安

5月10日、山口県のMENEサーキットで行われたミラージュカップを観戦しました。会場にはモータースポーツを通して知り合った友人も多く来ており、大変楽しいひとときを過ごすことができました。

今年からは新型ミラージュになり、エンジンがターボからNAに。このためタムの点で昨年より面白味にかけるのではないかと心配しましたが、レースではすさまじいバトルが演じられ大いに盛り上がりました。CMSC山形の小川選手も9位と健闘。また機会があればぜひ応援に行きたいと思います。

## '92全国大会のお知らせ

昨年に引き続き、こしもCMSC全国大会を8月に開催します。皆さんふるってご参加下さい。日程は下記のとおりです。

- 日時：8月22日(土)
- 場所：福島県東北サファリパーク・エビスサーキット
- 内容：支部対抗ジムカーナ競技など

# CMSC山形、選手層の厚さで着実にポイント獲得。

## '92チャレンジカップ

'92年CMSCチャレンジカップ、1月～5月期の第一次集計結果を発表します。クラブ別獲得ポイント

をみると、今期のトップは、コンスタントにポイントを重ねてスタートから快調に飛ばしているCMSC山形。各部門毎、大活躍をみせる選手層の厚さが決め手となっているようです。山形を追って2位に群

馬、3位に青森が続き、各クラブ共、それぞれ大いに健闘しています。チャレンジカップのポイント争いは、まだまだ序盤戦。部門別の個人タイトル争いとあわせ、今後も白熱した展開が予想されます。

### ●クラブ別獲得ポイント

	1～5月	6～8月	9～11月	12月	合計
山形	425				
群馬	360				
青森	318				
帯広	275				
岐阜	253				
札幌	242				
香川	222				
岩手	149				
島根	122				
愛知	71				
埼玉	64				
仙台	64				
大阪	46				
栃木	42				
千葉	4				
福島	—				

### ●ラリー・ドライバー部門

	順位	ポイント	所属
榑田正文	186	岐阜	
荒川信介	129	群馬	
及川光政	123	岩手	
千田俊二	118	札幌	
青沼達也	116	帯広	
菅野茂	106	山形	
宝田芳浩	96	札幌	
白井修	86	香川	
高竹優之	84	香川	
千田俊二	74	札幌	

### ●スラローム部門

	順位	ポイント	所属
小館久	140	青森	
佐々木賢太郎	108	青森	
赤羽政幸	90	山形	
北脇幹人	18	島根	
古藤浩美	11	島根	
土江厚	9	島根	
神田昌明	5	島根	
小出辰彦	5	愛知	
砂塚明男	2	山形	
荒井信介	1	群馬	

### ●レース部門

	順位	ポイント	所属
小川日出生	48	山形	
川口法行	32	栃木	
東江誠	30	仙台	
鈴木一彦	18	山形	
瀬在仁志	14	埼玉	
今野広志	8	仙台	
荒井信介	5	群馬	
平井みつよ	2	埼玉	
小出辰彦	1	愛知	

### ●ラリー・ナビゲーター部門

	順位	ポイント	所属
今野泰正	32	山形	
高柳満	30	愛知	
金子誠司	28	群馬	
中村洋次	24	帯広	
瀬々徹	24	埼玉	
巻口実	2	札幌	
早瀬要治	2	岐阜	
浅沼高典	2	岩手	
浅場武	2	群馬	
困俊郎	2	愛知	

### ●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

リタイアには予選不通過も含む

A = ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ  
スラローム……全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ  
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ  
B = それ以外の競技会